

別紙 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成29年度実績

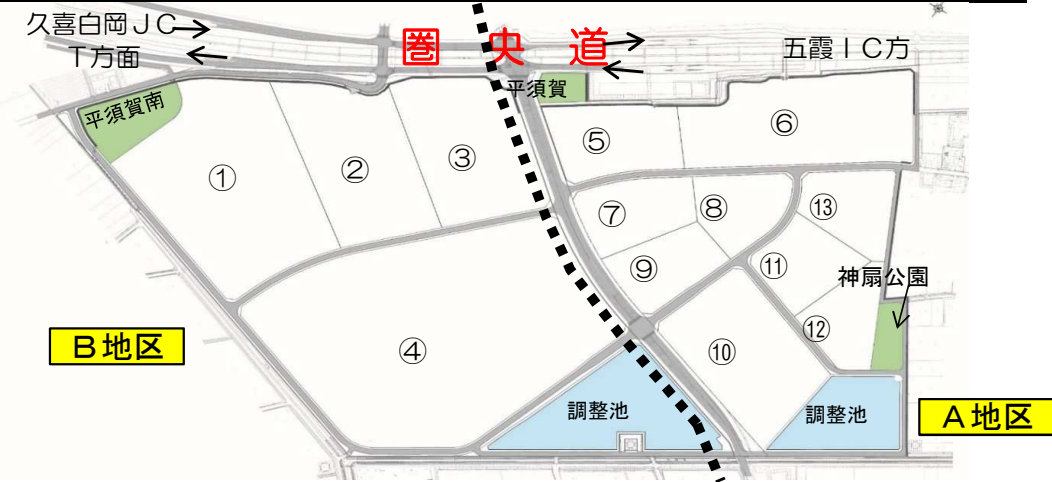
基本目標1	安定した雇用を創出する
施策 1	産業団地進出企業との連携と市内事業者への支援
取組内容	幸手中央地区産業団地の整備（建設経済部商工観光課）

1 取組の概要
埼玉県企業局との共同事業により、圏央道幸手インター東側地区において圏央道の開通及びインターの開設による立地ポテンシャルを活かした産業団地を整備する。

2 数値目標(KPI)
幸手中央地区産業団地内における従業者数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	700人	—	—	328人			328人

3 平成29年度の実績
平成29年度内の操業企業・・・4社
日本トランスシティ株式会社、横浜冷凍株式会社、
ホクト株式会社、堀川産業株式会社



① 日本トランスシティ株式会社	⑥ トラスコ中山株式会社	⑩ 株式会社豊嶋
②・③ 非公開希望	⑦ 横浜冷凍株式会社	⑪ 平野鋼線株式会社
④ 株式会社ニトリHD	⑧ ビセラル株式会社	⑫ 堀川産業株式会社
⑤ 株式会社トータルパック	⑨ ホクト株式会社	⑬ トラスコ中山株式会社

4 今後の方向(課題など)
・平成30年度については、既に1社が操業しており、今年度中に2社が操業予定である。来年度以降も順次操業をする予定である。
平成30年4月操業開始 平野鋼線株式会社
その他2社が平成30年度内に操業予定

基本目標1	安定した雇用を創出する
施策2	市内雇用の促進
取組内容	就職希望者と企業のマッチング支援（建設経済部商工観光課）

1 取組の概要

国（ハローワーク）や埼玉県などと連携して就職基本セミナーや個別就職相談会を実施する。

2 数値目標(KPI)

就労支援セミナー・相談会の実施回数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	累計5回	5回	5回 累計10回	16回 累計26回			16回 累計26回

3 平成29年度の実績

ハローワークや埼玉県と連携し、就労支援セミナーを開催した。出産・育児等で離職した女性の再就職を応援するためのセミナーの開催と再就職に不安を感じる女性を対象にした座談会を開催した。7人の者の就職に繋げることができた。



4 今後の方向(課題など)

ふるさとハローワークが市役所に設置されたことに伴い、今後とも国や県と連携してセミナーや相談会を実施していく。

基本目標2	地方への新しい人の流れをつくる
施策 1	幸手市の特性を活かした観光振興
取組内容	観光ボランティアガイドの育成（建設経済部商工観光課）

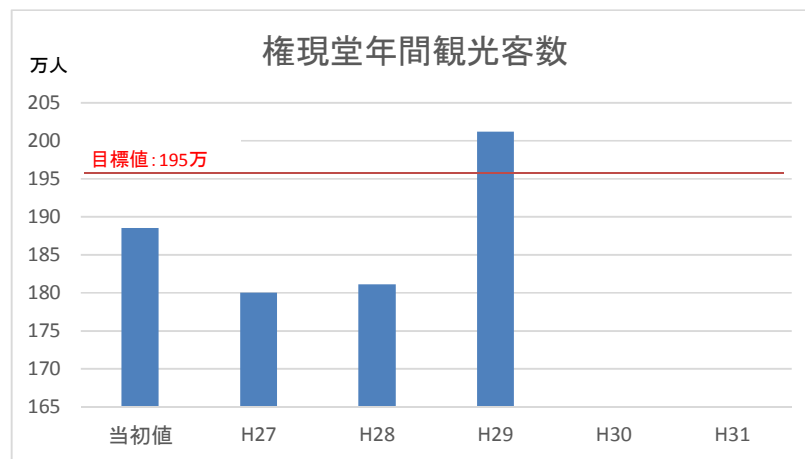
1 取組の概要

幸手市観光協会と連携して、ボランティアガイドの組織の立ち上げと観光ボランティアガイドの育成を行う。

2 数値目標(KPI)

権現堂年間観光客数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
188.5 万人	195 万人	180 万人	181.1 万人	201.2 万人			201.2 万人



3 平成29年度の実績

- ・平成29年1月に「幸手宿観光ガイドの会」が設立された。
宿場あるき(ガイドの会主催) 14回(延べ197人参加)
街あるき(外部の団体の依頼) 9回(延べ76人参加)



4 目標を達成に向け実施した内容

まち歩きガイドを実施し、まちなかを回遊できる体制づくりをした。

5 今後の方向(課題など)

- ガイドの増員を図るため、「観光ガイド養成講座」を実施する。
- ・桜まつり時の駐車場対策
 - ・幸手駅利用者の対応

基本目標2	新しい人の流れをつくる
施策2	駅周辺の整備
取組内容	東西自由通路及び幸手駅舎の整備（建設経済部まちづくり事業課）

1 取組の概要

新しく東西を結ぶ自由通路を鉄道オーバーにより整備することにより、鉄道により分断された東西市街地の一体化を図り、駅周辺の回遊性強化と利便性向上、安全性の高い交通環境の改善を図る。

2 数値目標(KPI)

東西自由通路及び幸手駅舎の整備進捗率

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
1.8%	100%	2.43%	15.15%	22.64%			22.64%

3 平成29年度の実績

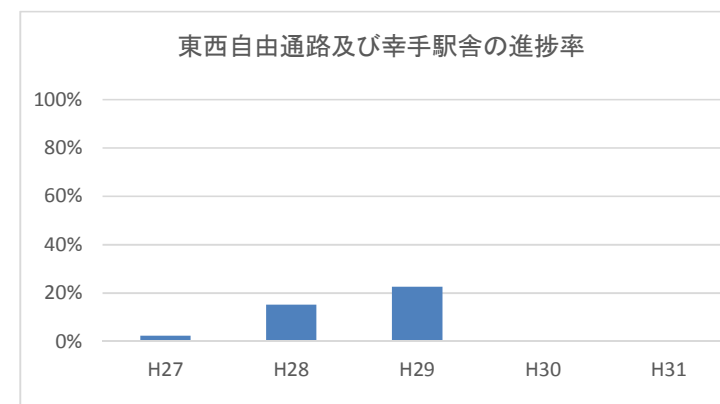
- ・自由通路及び橋上駅舎の本体工事に向け、既存駅舎等撤去工事を行った。
- ・自由通路及び橋上駅舎に係る杭工事等を行った。

（平成30年7月27日撮影）



東西自由通路及び幸手駅舎工事の状況

進捗率のグラフ



4 今後の方向(課題など)

- ・幸手駅西口土地区画整理事業との調整が必要となる。
- ・平成30年度は本体工事を実施する。

基本目標2	新しい人の流れをつくる
施策2	駅周辺の整備
取組内容	幸手駅西口土地区画整理事業地区の整備（建設経済部まちづくり事業課）

1 取組の概要

幸手駅西口の開設にあわせて、駅前広場や停車場線等の都市計画道路の整備など、地域の利便性、快適性を高める都市基盤整備により魅力ある都市空間を創出する。

また、区画道路や公園等の整備改善を一体的に行うことにより、安全で快適な市街地を整備する。

2 数値目標(KPI)

幸手駅西口土地区画整理事業の整備進捗率

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
2.3%	33.6%	4.93%	8.51%	19.01%			19.01%

(平成30年7月27日撮影)



西口駅前広場予定地

3 平成29年度の実績

- ・幸手駅西口土地区画整理事業の啓発のため、権利者に進捗状況等を周知した。
- ・幸手駅から県道幸手久喜線のアクセス道路の一部の整備を行った。
- ・アクセス道路整備の支障となる建築物等の補償契約を行った。
- ・建築物等が移転となる方の移転先の宅地造成工事を行った。
- ・補償対象物件の調査積算を行った。

4 目標達成に向け実施した内容

- ・幸手駅西口土地区画整理事業の啓発のため、「まちづくり物語」を作成し、権利者に進捗状況等を周知した。
- ・幸手駅から県道幸手久喜線へのアクセス道路となる西口停車場線、幅員9mの区画道路の道路整備を行った。
- ・県道幸手久喜線から西口停車場線へのアクセス道路となる9mの区画道路等の整備を行うにあたり、支障となる建築物等の補償契約を先行して行った。
- ・道路整備等により建築物等の移転が生じる方の移転先となる宅地造成工事を行った。
- ・翌年度に補償対象となっている建築物等の調査積算を行い、補償交渉に向け準備を行った。

5 今後の方向(課題など)

- ・平成30年度～平成31年度は、道路整備や宅地造成の対象となる土地の仮換地指定、建築物等の補償、道路築造工事、調整池築造工事を順次行う。

基本目標2	地方への新しい人の流れをつくる
施策 3	移住・定住の促進
取組内容	3世代ファミリーの定住支援（総合政策部政策課）

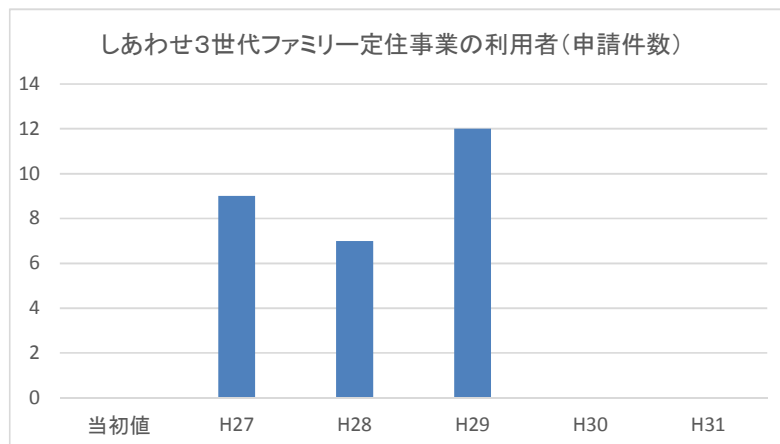
1 取組の概要

親・子・孫からなる3世代の同居・近居による市内定住を支援するため、初めて住宅を取得する子世帯（市外からの転入者）が新たに住宅を取得した場合に、建物取得価格の5%（限度額50万円）を補助する。

2 数値目標(KPI)

しあわせ3世代ファミリー定住事業の利用者（補助金申請件数）

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	累計18人	9人 累計9人	7人 累計16人	12人 累計28人			累計28人



3 平成29年度の実績

- ・3世代ファミリー定住支援事業補助金の交付
- ・3世代ファミリー定住支援事業のリーフレットを作成し、公共施設、不動産会社、移住定住関係のイベントで配架、配布、事業の周知を図った。

幸手市は、幸せな家族生活を応援します



4 目標を達成に向け実施した内容

- ・3世代ファミリー定住支援事業補助金の交付
- ・制度の周知、広報活動
- ・移住世帯数と人口増

平成27年度	9世帯	29人増
平成28年度	7世帯	20人増
平成29年度	12世帯	42人増
累計		28世帯 91人増

5 今後の方向（課題など）

制度創設の際は平成29年度までの期間の実施事業であったが移住定住施策に有効であるため、創生総合戦略の計画期間中は継続して実施することとした。ただし、対象人数を増やすため、平成30年度以降の補助金の上限額を50万円から30万円に変更した。

基本目標 2	地方への新しいひとの流れをつくる
施策 4	シティセールスの推進
取組内容	イベント時開催時の来訪者へのPR活動（総合政策部政策課）

1 取組の概要

幸手市の知名度を上げるため、スポーツ大会等の各種イベントを通じて、幸手市のPR活動を推進する。

2 数値目標(KPI)

人口の社会動態の減少数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
274人	137人	93人	67人	145人			145人

平成29年度東京ドーム行政物産展
(都市対抗野球22ゲート前)



3 平成29年度の実績

・都市対抗野球大会において、幸手市のPRのためパンフレットなどの配布を行った。

4 今後の方向(課題など)

・社会動態の減少人数の増加となっているのは、転入人口の増より転入人口の減が著しいことが原因であり、定住人口の増加とともに幸手市以外の地域から人を呼び込むことも課題となっている。



基本目標3	若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
施策 1	出会いの機会の創出
取組内容	婚活交流イベントの実施（総合政策部政策課）

1 取組の概要

若者世代の定住促進及び少子化対策の一環として、結婚を希望する独身者へ出会いの場を提供し、結婚への支援を行う。

2 数値目標(KPI)

カップル成立数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	累計21組	5組 累計5組	3組 累計8組	3組 累計11組			3組 累計11組

3 平成29年度の実績

平成29年度は「幸せを手にする婚活お料理教室」を開催し、独身の男性及び女性の出会いの場を創出した。

幸せを手にする婚活お料理教室



手毬ずし



レンコンの
挟み焼き



春菊の
胡麻和え



チョコプリン

「お料理を通じてご縁をつなぐ」をテーマにお料理による婚活イベントを開催した。

- 1 日 時 平成30年1月20日(土)11:00～14:20
- 2 場 所 ウェルス幸手調理室
- 3 参加費 1000円
- 4 参加状況 男性13人(うち市外4人)
女性11人(うち市外4人)
計 24人(うち市外8人)
- 5 内 容 お料理教室、実食、食育クイズ
- 6 カップル成立 3組



4 今後の方向(課題など)

市で行うイベントのほか、平成30年8月に設立した結婚支援センター「SAITAMA出会いサポートセンター」を活用し、若い世代の結婚の希望をかなえる機会を増やす。

基本目標 3	若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる
施策 2	産前・産後等のサポート体制の充実
取組内容	赤ちゃん訪問の実施（健康福祉部健康増進課）

1 取組の概要

保護者と乳幼児の健康の保持・増進のため、育児等に関する情報提供を行う。また、要保護児童の早期発見に努める。

2 数値目標(KPI)

赤ちゃん訪問の実施率

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
94.5%	100%	93.8%	96.6%	97.6%			97.6%

3 平成29年度の実績

- ・乳児家庭全戸訪問事業（生後4か月までの乳児とその家族）の実施 訪問実施率97.6%
- ・要経過観察時や要支援家庭への訪問指導等の実施



4 目的達成に向けて実施した内容

- ・子育て総合窓口で母子手帳交付の面接時に、事業説明を実施し、出生連絡票（ハガキ）を配布。
- ・こども支援課子ども医療費・児童手当申請時に出生連絡票を回収、説明
- ・訪問担当者（母子保健推進員及び保健師）から電話し、日程調整後、訪問実施。

5 今後の方向(課題など)

引き続き事業を推進していく。

基本目標 3	若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる
施策 2	産前・産後等のサポート体制の充実
取組内容	不妊検査・治療費の助成 (健康福祉部健康増進課)

1 取組の概要

不妊検査・治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担を軽減し、不妊検査・治療を受ける機会を拡大することにより、少子化対策及び子育て推進を図る。

2 数値目標(KPI)

不妊治療助成申請者数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	累計150組	17組 累計17組	32組 累計49組	25組 累計74組			25組 累計74組

3 平成29年度の実績

・不妊に悩む夫婦に対し、不妊検査・治療費を助成
交付件数 不妊検査1件、不妊治療25件

4 目的達成に向けて実施した内容

・対象者が埼玉県不妊治療費助成事業申請者であるため、幸手保健所に依頼し確実に対象者に周知チラシを配布。
・市ホームページ・広報等にて随時周知を図っている。

5 今後の方向(課題など)

引き続き事業を推進していく。



不妊検査費助成

ご夫婦1組につき、**2万円**まで助成します！

不妊治療費助成

1回の申請につき、**10万円**まで助成します！

基本目標 3	若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる	
施策 3	子育てしやすい環境の整備	
取組内容	保育の提供体制の整備 第2保育所の移転	(健康福祉部こども支援課)

1 取組の概要

良好な保育環境を提供するため、老朽化した第2保育所の新設移転を行う。

2 数値目標(KPI)

保育の入所可能数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
370人	463人	370人	463人	469人			469人

3 平成29年度の実績

平成29年5月8日 供用開始
敷地 園庭 1092㎡
建物 鉄筋造 延べ面積 760㎡
利用定員 120人



保育所	住所	定員合計
第1保育所	幸手市大字幸手2265番地	90人
第2保育所	幸手市吉野450番地9	120人
第3保育所	幸手市大字円藤内113番地	90人

4 今後の方向(課題など)

市内私立幼稚園の認定こども園化など、保育の受け皿の拡大を図って行く。

基本目標 3	若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる
施策 3	子育てしやすい環境の整備
取組内容	災害に強い安心安全な保育所の運営（健康福祉部こども支援課）

1 取組の概要

災害などに安心安全な保育所づくりを推進する。

2 数値目標(KPI)

防災士資格を取得した保育士数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	累計6人	10人 累計10人	0人 累計10人	0人 累計10人			0人 累計10人

3 平成29年度の実績

- ・風水害からの避難訓練など、市の特性や条件に即した災害を想定し、対応力の向上を図った。
- ・様々な災害を想定した避難訓練を実施した。

防災訓練の様子



紙芝居で防災のお話



4 今後の方向(課題など)

様々な災害に対応した防災訓練の実施するなど、安心安全な保育環境の整備を図る

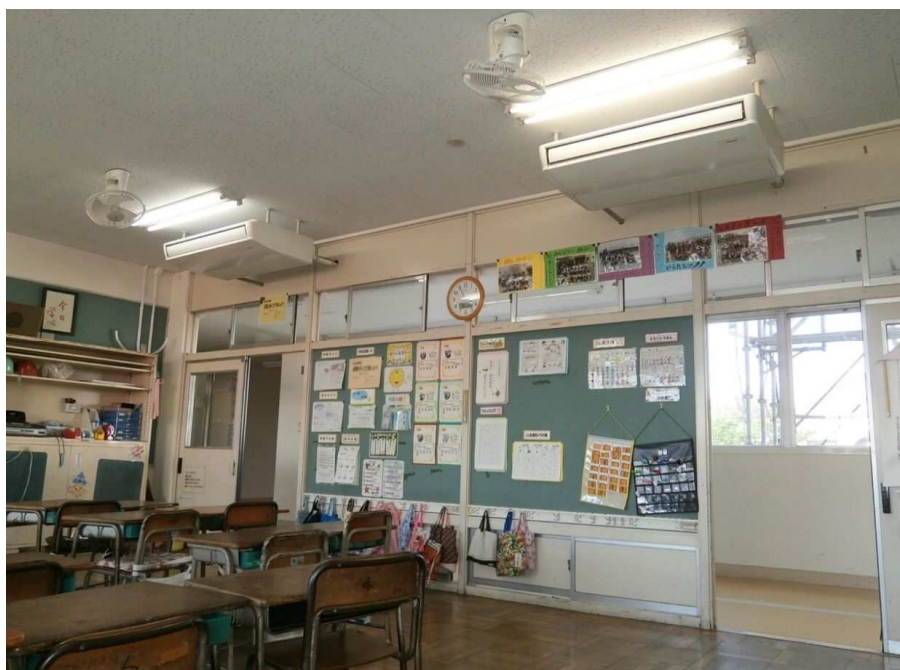
基本目標 3	若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる
施策 4	教育環境の充実と学力の向上
取組内容	小・中学校へのエアコンの設置（教育委員会教育部総務課）

1 取組の概要

幸手市小・中学校エアコン整備プロジェクトチームで契約方法・熱源方式・設置教室を検討し、全ての小・中学校の普通教室・特別教室等の計339教室にエアコンを整備した。

2 平成29年度の実績

小学校 9校	235教室
中学校 3校	104教室
合計 12校	339教室



普通教室



特別教室

基本目標 3	若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる
施策 4	教育環境の充実と学力の向上
取組内容	アフタースクールの実施（教育委員会教育部指導課）

1 取組の概要

学習習慣の定着を図るため、放課後の時間帯を利用して小学校4年生から6年生を対象に、教員のOB等の講師が指導し、無料で学習の場を提供している。

2 数値目標(KPI)

さってアフタースクールの実施回数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
—	累計 500回	279回 累計279回	527回 累計805回	545回 累計 1,351回			545回 累計 1,351回

3 平成29年度の実績

- ・市内9校にて、年間累計518回の実施
- ・市内9校にて、318人の児童の参加
- ・週2回の実施の他に、長期休業中2回の実施



4 目標の達成に向けて実施したこと

- ・陸上大会やロードレース大会等、学校が放課後の時間に行事を行う日以外は、1校あたり週2回を確実に実施した。
- ・長期休業中は、学校開催のサマースクールへ講師を派遣するとともに、独自に夏休みのさってアフタースクールを実施した。

5 今後の方向(課題など)

- ・引き続き9校で実施する予定である。
- ・1校あたり週2回、30週(年間60日)程度、9校で540回程度の実施を予定している。

基本目標 3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策 4	教育環境の充実と学力の向上
取組内容	放課後児童クラブ室の充実と開設準備費用の助成（健康福祉部こども支援課）

1 取組の概要

日中、保護者のいない家庭の小学校児童などの健全な育成を図るための事業を実施する。平成28年度4月さくら小学校及び権現堂川小学校、平成29年度に吉田小学校及び八代小学校に放課後児童クラブを設置する。

2 数値目標(KPI)

放課後クラブ室の開設数

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
7箇所	累計 11箇所	7箇所 累計7箇所	2箇所 累計9箇所	2箇所 累計 11箇所			累計 11箇所

3 平成29年度の実績

市内2か所（吉田小学校、八代小学校）に、新たに放課後児童クラブ室の開設を行い、市内11箇所の放課後児童クラブとなった。

4 今後の方向（課題など）

市内の全小学校に放課後児童クラブが設置され、今後は、利用児童数の大小規模のクラブの運営が課題となる。



いなほ児童クラブ（吉田小学校内）



八代っ子児童クラブ（八代小学校内）

基本目標 4	時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
施策 3	高齢者の生きがいがいづくりと連携体制の充実
取組内容	地域包括支援センターの相談業務の充実（健康福祉部介護福祉課）

1 取組の概要

地域包括支援センターは地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のための必要な援助を行うことを業務とし、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する中核機関として配置している。

2 数値目標(KPI)

生きがいがあると思う高齢者の割合

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
84.1%	90.0%	—	62.5%	—			—

3 平成29年度の実績

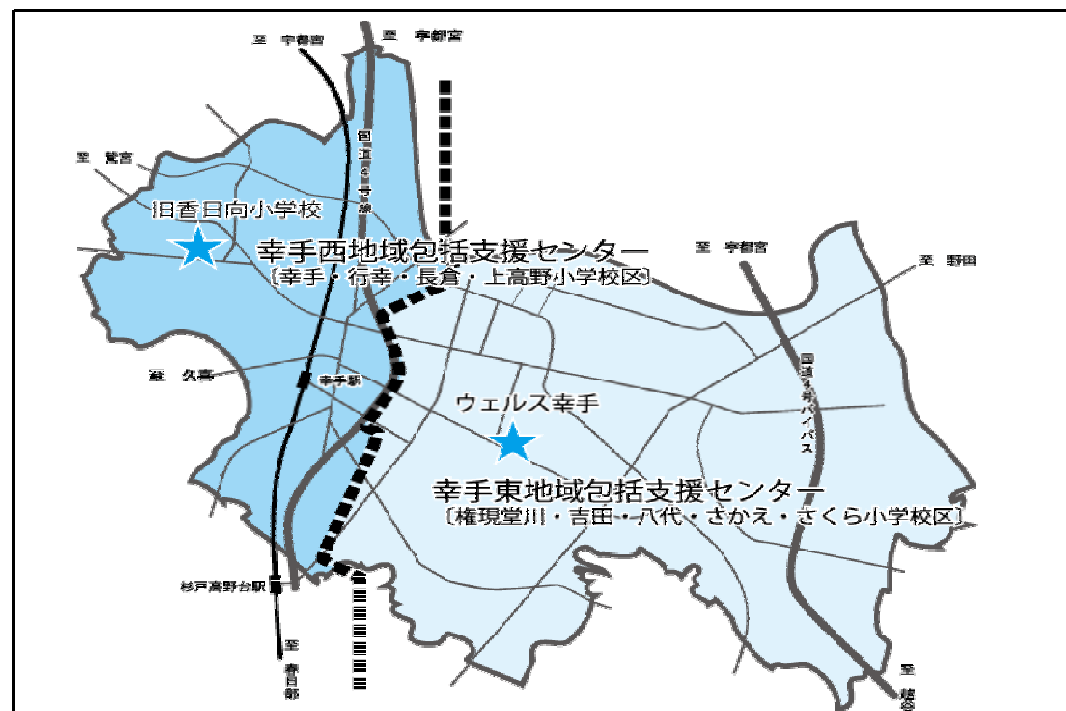
- ・総合相談支援を実施
- ・地域におけるネットワークを構築
- ・市民団体を対象とした講話及び広報活動の実施
- ・認知症初期集中支援チーム員会議の開催

4 目標達成に向け実施した内容

- ・地域包括ケアシステム構築のための地域支援事業の実施
- ・介護予防事業の実施
- ・地域ケア会議の実施
- ・認知症地域支援推進員会議の実施
- ・認知症初期集中支援チーム員活動の実施
- ・各種会議への参加により、医療・介護・福祉等各種関係機関との連携を図る。

5 今後の方向(課題など)

- ・地域包括ケアシステム構築のため、各施策における連携の役割を果たす。



基本目標 4	時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
施策 3	高齢者の生きがいづくりと連携体制の充実
取組内容	生活支援サービスや見守り体制の充実（健康福祉部介護福祉課）

1 取組の概要

住民主体による生活支援サービスや見守り体制を強化するため、関係団体による協議体や生活支援コーディネーターの配置を行う。

2 数値目標(KPI)

生きがいがあると思う高齢者の割合

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
84.1%	90.0%	—	62.5%	—			—

3 平成29年度の実績

- ・生活支援体制整備推進協議会の開催
- ・生活支援コーディネーターの配置
- ・高齢者障害者地域見守り支援ネットワーク全体会の開催及び会報誌の発行

4 目標達成に向け実施した内容

- ・平成29年度高齢者・障害者・見守りネットワーク会議 全体会



5 今後の方向(課題など)

- ・地域包括ケアシステム構築を目指し、既存の活動と連携し、多様な主体による生活支援の充実を目指す。
- ・介護保険制度改正により事業の見直しを行い、住民主体の活動の支援や、高齢者自らが活動の主体となるための介護予防事業及び生きがいづくりの充実を図る。

**幸手市高齢者・障害者
地域見守り支援ネットワーク**

～さりげない見守りて、気づきがあったら下記に連絡を～
ネットワーク事務局：幸手市介護福祉課

電話 **0480-42-8438** FAX **0480-43-5600**

基本目標 4	時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
施策 3	高齢者の生きがいづくりと連携体制の充実
取組内容	ボランティア活動の支援（健康福祉部介護福祉課）

1 取組の概要

ボランティアとして地域における介護予防の普及啓発を行う「介護予防サポーター」の育成・支援を行う。
生活支援体制整備事業を通じて、住民主体による生活支援サービスや高齢者の集いの場を運営する住民ボランティア活動を支援する。

2 数値目標(KPI)

生きがいがあると思う高齢者の割合

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
84.1%	90.0%	—	62.5%	—			—

介護予防サポーター養成講座



3 平成29年度の実績

- ・介護予防サポーター養成講座の開催
- ・介護予防サポーター研修の実施
- ・生活支援体制整備推進協議会の開催
- ・生活サポーター養成講座の開催

4 目標達成に向け実施した内容

- ・地域包括ケアシステム構築のための地域支援事業の実施
- ・介護予防事業の実施
- ・介護予防サポーター養成講座の実施

5 今後の方向(課題など)

- ・介護予防サポーターが、地域における介護予防の中核となるよう、引き続き養成及び研修を行う。
- ・生活サポーターを引き続き養成し、ボランティアとして活動できるよう支援を行う。

基本目標 4	時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
施策 3	高齢者の生きがいづくりと連携体制の充実
取組内容	健康づくりの支援（健康福祉部介護福祉課）

1 取組の概要

運動等に関する教室の開催や出前講座を行ったり、地域における自主的な健康づくり活動に対する支援を行う。

2 数値目標(KPI)

生きがいがあると思う高齢者の割合

当初値	目標値	H27	H28	H29	H30	H31	実績値
84.1%	90.0%	—	62.5%	—			—

3 平成29年度の実績

- ・介護予防に関する教室の開催
- ・地域で活動する団体へ介護予防に関する出前講座の実施
- ・認知症予防に関する教室や事業の実施

4 今後の方向(課題など)

- ・介護予防が住民の身近な場所で行われ、住民主体の介護予防活動がさらに広がるよう支援する。

認知症予防教室

